



2020年8月6日

セメント製造設備を利用した 大型リチウムイオン電池リサイクル事業開始について

松田産業株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田芳明、以下「当社」）は、かねてより太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文、以下「太平洋セメント」）と共同で、敦賀セメント株式会社（本社：福井県敦賀市、代表取締役社長：山本学、以下「敦賀セメント」）構内に設置した焙焼設備を用いて「大型リチウムイオン電池のリサイクル技術開発」を実施して参りましたが、このたび、敦賀セメントが広域認定制度におけるリチウムイオン電池の処理施設に認定されたことから、2020年4月より営業運転を開始致しました。

次世代自動車や太陽光発電システムにおける大容量蓄電用途として普及が進む「大型リチウムイオン電池」は、今後廃棄量が急増することが見込まれています。リチウムイオン電池内には、引火点の低い電解液が含浸されており、安全に熱処理し、無害化する処理技術が必要となります。また、原材料にレアメタル等の有用金属が使用されていることから、金属資源を効率良く回収する技術が求められています。

両社は、セメント製造プロセスにおける「石灰石」や「廃熱」を活用することで、大型リチウムイオン電池を安全に熱処理するとともに、排ガス処理コストを削減できる点に着目、2011年より共同開発を開始致しました。2017年3月には世界初となるセメント製造プロセスを活用した焙焼設備を敦賀セメント構内に設置、リサイクル実証を進めて参りました。焙焼後物は当社へ集約、破碎・選別により有用金属を回収、残さはセメント原燃料化されますので、本事業では処理困難物である大型リチウムイオン電池を安全かつ高効率に無害化・再資源化処理することが可能となり、100%リサイクルを実現致します。

この度、敦賀セメントおよび当社拠点が広域認定制度における使用済み大型リチウムイオン電池の処理施設として認定されましたので、営業運転を開始致しました。

当社と太平洋セメントは、敦賀地区における事業を皮切りに、大型リチウムイオン電池のリサイクルチェーン構築を一層強化することで、資源循環型社会の実現に向けて貢献して参ります。

<本件に関する問合せ先>
松田産業株式会社
金属・環境営業本部
営業企画推進部
TEL：03-3345-0811